# 法　令　試　験　問　題

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業者名<br>及び<br>受験者氏名 | | 採点 | |

（注意事項）

１．本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。

２．設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

**【○×問題】**

**次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。**

**１点×２０＝２０点**

（１）一般貸切旅客自動車運送事業の事業計画には、少なくとも、輸送の安全を確保するための事業の運営の方針に関する事項について、明確に定めなければならない。

（　　）

（２）休止している一般旅客自動車運送事業を再開する場合は、あらかじめ届け出なければならない。

（　　）

（３）一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の車内に運賃及び料金を旅客に見やすいように掲示しなければならない。

（　　）

（４）一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款に定める事項として、正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を（　）内に記入しなさい。

①旅客の運送を申し込む者は運送引受書を提出しなければならない　（　　）

②運送契約は、乗車券を契約責任者に交付したときに成立する　（　　）

③旅行業者の企画旅行による申し込みの場合、契約責任者は旅客である　（　　）

④運送を引き受けるときには、契約責任者へ運賃及び料金の支払いを求める（　　）

（５）輸送実績報告は一年間保存しなければならない。

（　　）

（６）一般旅客自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

（　　）

（７）一般貸切旅客自動車運送事業者は、正当な事由がある場合、運送の申し込みを受けた順序によらずに旅客の運送を行うことができる。

（　　）

（８）一般貸切旅客自動車運送事業廃止届出書には、「廃止する理由」を記載する必要がある。

（　　）

（９）事業者は、特定の旅客に対し、不当な差別的取扱いをしてはならない。

（　　）

（10）事業者は、運転者の酒気帯びの有無の確認のためにアルコール検知器を用いる必要があるが、アルコール検知器が故障してしまった場合はこの限りではない。

（　　）

（11）事業者の運行管理者が行わなければならない事項として、法令で定められた事項には○印を、そうでない事項には×印を（ ）内に記入しなさい。

①乗務員台帳を作成し、営業所に備え置くこと　（　）
②自動車事故報告規則に基づく、事故報告書を提出すること　（　）
③事業用自動車の運転者に法令で定める適性診断を受けさせること　（　）
④運行管理規定を作成すること　（　）
⑤運送引受書を交付すること　（　）

（12）事業者は、事業の譲渡及び譲受を行う際には、事前に届出を行えばよい。

（　　）

（13）一般旅客自動車運送事業者は、正当な理由がないのに許可又は認可を受けた事項を実施しないときは、国土交通大臣から一年以内において期間を定めて自動車その他の輸送施設の当該事業のための使用の停止を命ぜられることがある。

（　　）

**【選択問題】**

**次の文章の（　）の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。**

**１点×１７＝１７点**

（１）一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の（　）の確保に関する業務を行わせるため、国土交通省令で定める（　）ごとに、運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから、（　）を選任しなければならない。

ア．所有権　イ．運行管理者　ウ．出発地　エ．保安基準　オ．運行の安全
カ．技術の向上　キ．火災　ク．利益　ケ．迅速　コ．走行距離
サ．重大な事故　シ．運営を適正　ス．目的地　セ．点検　ソ．継続
タ．営業所　チ．公害の防止　ツ．適切な時期　テ．公共の福祉　ト．保護
ナ．乗務員の服務

（２）旅客自動車運送事業者は、第二十六条の二に規定する事故の記録、第三十八条第一項及び第三項の規定による（　）の記録その他の国土交通大臣が告示で定める書類を適切に管理し、（　）第一項の規定による（　）の求め又は同条第四項の規定による（　）を受けた場合に、速やかに提示できるようにしなければならない。

ア．指導監督　イ．報告　ウ．車両法第六十三条　エ．教育　オ．乗務
カ．報告規則第二条　キ．通達　ク．立入検査　ケ．告示　コ．適性診断
サ．指導　シ．命令　ス．運輸規則　セ．法第九十四条　ソ．巡回

（３）「旅客自動車運送事業」とは、（　）に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいう。

ア．自己の目的　イ．自治体等の要請　ウ．他人の需要

（４）運転者の拘束時間は、一日（　）時間以内を基本とし、休息時間は継続（　）時間以上が必要となる。また、運転時間は二日間の平均で９時間が限度である。

ア．６　イ．７　ウ．８　エ．９　オ．１０
カ．１１　キ．１２　ク．１３　ケ．１４　コ．１５

（５）旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後（　）以内に管轄する地方運輸局長（国土交通大臣）に当該事業年度に係る事業報告書を提出しなければならない。

ア．三十日　イ．六十日　ウ．百日

（６）一般旅客自動車運送事業者は、（　）の変更をしようとするときは、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

ア．運行計画 イ．事業計画 ウ．運行回数

（７）旅客自動車運送事業者は、旅客又は公衆に対して、（　）かつ懇切な取扱いをしなければならない。

ア．公平 イ．親切 ウ．丁寧

（８）旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って事業用自動車の運転者の（　）及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。

ア．休憩時間 イ．勤務時間 ウ．出勤時間

（９）旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、乗務員等の氏名等の記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において（　　）保存しなければならない。

ア．六ヶ月間　　イ．一年間　　ウ．三年間

(10) 旅客自動車運送事業者は、（　　）以上の運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けさせなければならない。

ア．六十歳　　イ．六十五歳　　ウ．七十歳

(11) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、（　　）に運行指示書を作成する。

ア．運転者ごとに　イ．車両ごと　ウ．運行ごと

**【筆記問題】**

１点×３＝３点

（１）次の文章の（　）の中にあてはまる語句を回答しなさい。

国土交通大臣は、国土交通省令で定めるところにより、旅客自動車運送事業に関する秩序の確立に資することを目的とする一般社団法人又は一般財団法人であって、事業を適正かつ確実に行うことができると認められるものを国土交通大臣が定める区域ごとに、かつ、旅客自動車運送事業の種別ごとに、（　　）として指定することができる。

答.＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（２）旅客自動車運送事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者として法令で定められている者をひとつ記入しなさい。

答.＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（３）次の文章の（　）の中にあてはまる語句を回答しなさい。

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の（　　）に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。

答.＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

# 法　令　試　験　問　題　模範解答

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業者名<br>及び<br>受験者氏名 | | 採点 | |

（注意事項）

１．本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。

２．設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

**【○×問題】**

**次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。**

**１点×２０＝２０点**

（１）一般貸切旅客自動車運送事業の事業計画には、少なくとも、輸送の安全を確保するための事業の運営の方針に関する事項について、明確に定めなければならない。（道路運送法第５条）

（　×　）

（２）休止している一般旅客自動車運送事業を再開する場合は、あらかじめ届け出なければならない。（施行規則第６６条）

（　×　）

（３）一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の車内に運賃及び料金を旅客に見やすいように掲示しなければならない。（運輸規則第４条）

（　×　）

（４）一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款に定める事項として、正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を（　）内に記入しなさい。（一般貸切旅客自動車運送事業標準約款第５条・６条・２５条）

①旅客の運送を申し込む者は運送引受書を提出しなければならない　（×）
②運送契約は、乗車券を契約責任者に交付したときに成立する　（○）
③旅行業者の企画旅行による申し込みの場合、契約責任者は旅客である　（×）
④運送を引き受けるときには、契約責任者へ運賃及び料金の支払いを求める（○）

（５）輸送実績報告は一年間保存しなければならない。

（　×　）

（６）一般旅客自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。（道路運送法第１１条）

（　○　）

（７）一般貸切旅客自動車運送事業者は、正当な事由がある場合、運送の申し込みを受けた順序によらずに旅客の運送を行うことができる。（道路運送法第１４条）

（　○　）

（８）一般貸切旅客自動車運送事業廃止届出書には、「廃止する理由」を記載する必要がある。（施行規則第２５条）

（　○　）

（９）事業者は、特定の旅客に対し、不当な差別的取扱いをしてはならない。（道路運送法第３０条）

（　○　）

（10）事業者は、運転者の酒気帯びの有無の確認のためにアルコール検知器を用いる必要があるが、アルコール検知器が故障してしまった場合はこの限りではない。（運輸規則第２４条）

（　×　）

（11）事業者の運行管理者が行わなければならない事項として、法令で定められた事項には○印を、そうでない事項には×印を（ ）内に記入しなさい。（運輸規則第４８条）

①乗務員台帳を作成し、営業所に備え置くこと　（ ○ ）
②自動車事故報告規則に基づく、事故報告書を提出すること　（ × ）
③事業用自動車の運転者に法令で定める適性診断を受けさせること　（ ○ ）
④運行管理規定を作成すること　（ × ）
⑤運送引受書を交付すること　（ × ）

（12）事業者は、事業の譲渡及び譲受を行う際には、事前に届出を行えばよい。（道路運送法第３６条）

（　×　）

（13）一般旅客自動車運送事業者は、正当な理由がないのに許可又は認可を受けた事項を実施しないときは、国土交通大臣から一年以内において期間を定めて自動車その他の輸送施設の当該事業のための使用の停止を命ぜられることがある。（道路運送法第４０条）

（　×　）

【選択問題】

次の文章の（　）の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

１点×１７＝１７点

（１）一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の（ オ ）の確保に関する業務を行わせるため、国土交通省令で定める（ タ ）ごとに、運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから、（ イ ）を選任しなければならない。（道路運送法関係第２３条）

ア．所有権 イ．運行管理者 ウ．出発地 エ．保安基準 オ．運行の安全
カ．技術の向上 キ．火災 ク．利益 ケ．迅速 コ．走行距離
サ．重大な事故 シ．運営を適正 ス．目的地 セ．点検 ソ．継続
タ．営業所 チ．公害の防止 ツ．適切な時期 テ．公共の福祉 ト．保護
ナ．乗務員の服務

（２）旅客自動車運送事業者は、第二十六条の二に規定する事故の記録、第三十八条第一項及び第三項の規定による（ ア ）の記録その他の国土交通大臣が告示で定める書類を適切に管理し、（ セ ）第一項の規定による（ イ ）の求め又は同条第四項の規定による（ ク ）を受けた場合に、速やかに提示できるようにしなければならない。（運輸規則第６９条）

ア．指導監督 イ．報告 ウ．車両法第六十三条 エ．教育 オ．乗務
カ．報告規則第二条 キ．通達 ク．立入検査 ケ．告示 コ．適性診断
サ．指導 シ．命令 ス．運輸規則 セ．法第九十四条 ソ．巡回

（３）「旅客自動車運送事業」とは、（　ウ　）に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいう。（道路運送法２条）

ア．自己の目的　イ．自治体等の要請　ウ．他人の需要

（４）運転者の拘束時間は、一日（ ク ）時間以内を基本とし、休息時間は継続（ エ ）時間以上が必要となる。また、運転時間は二日間の平均で９時間が限度である。

ア．６ イ．７ ウ．８ エ．９ オ．１０
カ．１１ キ．１２ ク．１３ ケ．１４ コ．１５

（５）旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後（ ウ ）以内に管轄する地方運輸局長（国土交通大臣）に当該事業年度に係る事業報告書を提出しなければならない。（事業報告規則２条）

ア．三十日 イ．六十日 ウ．百日

（６）一般旅客自動車運送事業者は、（ イ ）の変更をしようとするときは、国土交通大臣の認可を受けなければならない。（道路運送法１５条）

ア．運行計画 イ．事業計画 ウ．運行回数

（７）旅客自動車運送事業者は、旅客又は公衆に対して、（ ア ）かつ懇切な取扱いをしなければならない。（運輸規則２条）

ア．公平 イ．親切 ウ．丁寧

（８）旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って事業用自動車の運転者の（ イ ）及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。（運輸規則２１条）

ア．休憩時間 イ．勤務時間 ウ．出勤時間

（９）旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、乗務員等の氏名等の記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において（ ウ ）保存しなければならない。（運輸規則２６条の２）

ア．六ヶ月間 イ．一年間 ウ．三年間

（10）旅客自動車運送事業者は、（ イ ）以上の運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けさせなければならない。（運輸規則３８条）

ア．六十歳 イ．六十五歳 ウ．七十歳

（11）一般貸切旅客自動車運送事業者は、（ ウ ）に運行指示書を作成する。（運輸規則２８条の２）

ア．運転者ごとに イ．車両ごと ウ．運行ごと

**【筆記問題】**

１点×３＝３点

（１）次の文章の（ ）の中にあてはまる語句を回答しなさい。

国土交通大臣は、国土交通省令で定めるところにより、旅客自動車運送事業に関する秩序の確立に資することを目的とする一般社団法人又は一般財団法人であって、事業を適正かつ確実に行うことができると認められるものを国土交通大臣が定める区域ごとに、かつ、旅客自動車運送事業の種別ごとに、（ ）として指定することができる。（道路運送法第４３条の２）

答．　旅客自動車運送適正化事業実施機関

（２）旅客自動車運送事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者として法令で定められている者をひとつ記入しなさい。（運輸規則第３６条）

答．日々雇い入れられる者、二月以内の期間を定めて使用される者、試みの使用期間中の者、十四日未満の期間ごとに賃金の支払いを受ける者

（３）次の文章の（　）の中にあてはまる語句を回答しなさい。

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の（　　）に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。（道路運送車両法第４７条の２第１項）

答．　　日常的